

一西だより



豊川市立一宮西部小学校通信
令和7年10月29日 第19号
発行;校長 村上謙一

【指導員訪問】

10/16(木)市内の教科指導を担当される先生方5名(国語・理科・生活総合・音楽・保健体育)にお越しいただいて教科指導についての研修を深めました。子どもたちが積極的に学習に取り組む様子について、たくさんのおほめの言葉をいただきました。一西小の子どもたち、みんな立派でしたよ。ありがとう。



【たくさんのプロジェクトが動く】



後期の児童会活動は、これまでの当たり前を問い直し、委員会が受け持っていた仕事のうち、「ないとこまること」を学校での一人一役の取組として残し、「やってみたいこと」をプロジェクト化して子どもたちに自走を促しています。

経験のない取組なので、動き出しに時間がかかることや、大きな反応はないものと考えていました。しかし、すでに22のプロジェクトが動いています。子どもたちの主体性にも驚きますが、先生方のきめ細かな支援があってこそその動きです。この経験が、10年後の社会で生きていくための「見えない学力」つながることを願っています。

動いているプロジェクトは次のとおりです。

コイ池そうじ、トイレそうじ(男・女)、大空タイム音楽、給食の時間音楽①、廊下で走る人を減らそう、学校新聞、落とし物バザー、折り紙、みんなで絵を描こう、みんなで工作、えんげき、ダンス発表会、みんなでダンス、マラソン大会、全校ドッジボール大会、本のおすすめ、一斉下校早く帰ろう、赤い羽根、給食の時間音楽②

「学校をよりよく、楽しくする」(目的)にはこんなにたくさんの手段があるのですね。すごいですね。



【市教育研究授業を行いました】

市の教育研究を推進する大勢の先生方にお集まりいただき、塚本先生(10/21)と松岡先生(10/29)が研究授業を行いました。

お越しいただいた先生方のお一人、兵庫教育大学の山内敏夫教授は中教審の委員でもあり、国の教育のあり方を決めていくお立場でもあります。子どもたちの授業に取り組む姿勢を「素直な反応と、自分事として考えるつばやきがあって素晴らしいですね」とほめていただきました。



【さわやか集会】

10/24(金)、後期の学級委員認証式をリモート配信で行いました。本校が取り組むチーム担任制は学級づくりの主体を子どもに返して、子どもの当事者意識を育もうとする取組です。そこで、学級委員に認証した18名全員に、「クラスで悲しい思いをしている村上君(私)に一言かけてください」とお願いしたところ、「大丈夫?」「何があったの?」「私にできることある?」等の言葉が出てきました。中には困っている子役の私の肩をたたいて声かけをしてくれる人もいました。

この3つの言葉は、本校のサポーターの皆さんをお願いしている言葉かけそのままのものです。一西小の子どもたちは、だれひとり悲しい思いをする子がいない学級づくりをする力をすでにもっていることを強く感じました。大変うれしい認証式でした。学級委員の皆さん、どうぞ学級をよろしくお願いします。

【交通指導のご協力をお願いします】

県道498号、一西小の北側、JR飯田線を超えて国道151号に抜ける喫茶店「ひなた」様前の交差点の朝の交通指導を行っていただけの方を探しています。

これまで長くお願いしていた方が、体力的な事情から今年いっぱいでご勇退されることになりました。交通量が多く、信号機もないことから児童の横断が心配です。業務は毎朝7:45~8:00の15分間、児童の道路横断に合わせて旗で車を止めていただきます。週に1回でも可能な方が見えたら学校までお知らせください。